

マテリアリティ別 各事業セグメント 2021年度活動報告

バンダイナムコグループでは、各事業セグメントおよび関連事業会社が、グループCSR重要項目（現：マテリアリティ）別に中期計画を設定し、活動に取り組んでいます。グループCSR委員会（現：グループサステナビリティ委員会）およびグループCSR部会（現：グループサステナビリティ部会）において活動状況の進捗確認と振り返りを行うとともに、定期的に当社取締役会にて報告を行い、計画の達成を目指しています。2021年度における各事業セグメントおよび関連事業会社の活動状況は以下の通りです。

注：2021年度の事業セグメント区分に基づき掲載しています。

2021年度に従来の「グループCSR重要項目」の見直しを実施し、「マテリアリティ」を特定しました。

2022年度より、特定したマテリアリティのもとで目標の設定と施策の実行を行っています。本表は従来の区分を「マテリアリティ」の区分に置き換えて記載しており、2021年度の目標にない項目の進捗状況は記載しておりません。

バンダイナムコグループ マテリアリティ 地球環境との共生		
事業セグメント	2021年度活動報告	進捗状況
デジタル事業	+ (株)バンダイナムコエンターテインメントが国連気候行動サミットにて発足された「Playing For The Planet Alliance」へ参加。	
トイホビー事業	+ 事業セグメント内において、CSR推進会（年4回）、エコメダル委員会（年4回）を開催。 + 環境配慮について所定の社内基準を満たした製品を「エコメダル」製品として認定する「エコメダル」認定制度において、2021年度は490アイテムを認定。	
映像音楽事業	+ 環境に配慮したライブイベントの実施。 ⇒照明のLED化、資材の再利用など。	
クリエイション事業	+ アニメーション制作工程のデジタル化推進による紙資源削減。 + 社内報、メールマガジンを通じて社員に向けた啓発活動を継続。	
アミューズメント事業	+ 母体商業施設のご理解のもと、お客様への安全・防犯面などで支障のない範囲を消灯するライトダウンキャンペーンを実施。 ⇒アミューズメントユニットの各本社・営業拠点含む90拠点で実施。	
関連事業会社 (バンダイロジバル・ロジバルエクスプレス)	+ エコドライブ活動継続による平均燃費 ⇒5.29km/L	

バンダイナムコグループ マテリアリティ 適正な商品・サービスの提供		
事業セグメント	2021年度活動報告	進捗状況
デジタル事業	+ ゲーム制作におけるガイドラインの定期的な見直し。 + 各種倫理ガイドラインの更新。 + コーザビリティガイドラインの策定。	
トイホビー事業	+ 「プロダクトセーフティーフォーラム」として、トイホビー事業各社および(株)バンダイナムコエンターテインメント合同の製品安全と品質を考える展示会をオンラインで実施。 ⇒来場者1,902名、昨対133% + バンダイ新品質基準を2021年10月より運用開始。 + 製品安全対策優良企業表彰ゴールド企業として継続認定。 + VOC・品質連絡会にて事業部担当者とVOC (Voice of Customer)、品質、倫理に関する事例共有を実施。	
映像音楽事業	+ 新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえたライブイベント運用スキルの確立。 + 映像作品の倫理的表現についてプロデュース部門および品質保証部門、制作関連会社による多重チェックを実施。 + バリアフリー日本語音声ガイド対応作品拡充。	
クリエイション事業	+ シナリオ、絵コンテや商品監修などでの表現における社内チェック体制を強化。	
アミューズメント事業	+ 施設の安全性に関する点検を実施。 ⇒バンダイナムコアミューズメントにおける店舗安全点検（233店舗）、遊具点検（44箇所）、大型遊戯施設点検（延べ4箇所）、電気設備点検（64店舗）を実施。 + 食品衛生に関する自主検査（食品衛生検査）を29件実施。 + 商品・サービスにおける倫理表現について、倫理担当事務局を設置してのチェック体制を継続的に推進。 + 輸入玩具の日本国内法令に沿った安全性確保のための品質確認を実施。	
関連事業会社 (バンダイロジバル・ロジバルエクスプレス)	+ 安全性優良事業所（Gマーク）3拠点追加認証。 ⇒栃木・静岡成形集配・北九州	

バンダイナムコグループ マテリアリティ 知的財産の適切な活用と保護		
事業セグメント	2021年度活動報告	進捗状況
デジタル事業	+ 業界他社との特許意見交換会開催。	—
トイホビー事業	+ (株)バンダイが経済産業省 特許庁の令和3年度「知財功労賞」において、知的財産権制度活用優良企業として「特許庁長官表彰(商標)」を受賞。	—
映像音楽事業	+ 関連団体およびグループ各社と協同した権利侵害対策の強化。	—
クリエイション事業	+ 一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構(CODA)が事務局を務める「マンガ・アニメ海賊版対策協議会」にて、映像制作の協力。	—

バンダイナムコグループ マテリアリティ 尊重しあえる職場環境の実現		
事業セグメント	2021年度活動報告	進捗状況
デジタル事業	+ ファミリーイベントの実施。	—
トイホビー事業	+ 日本向け(株)バンダイ製品を生産するすべての海外最終梱包工場(180工場)に対して監査を実施。	☀
クリエイション事業	+ ファミリーイベントの実施。	—

バンダイナムコグループ マテリアリティ コミュニティとの共生		
事業セグメント	2021年度活動報告	進捗状況
デジタル事業	+ ガンダムオープンイノベーション発足。IP(キャラクターなどの知的財産)による社会課題解決を目指す。	—
トイホビー事業	+ プラモデル授業「ガンブラアカデミア」の実施。 + 「バンダイ災害時こども応援活動」を開始し、支援おもちゃを開発。	—
映像音楽事業	+ ライブ活動で販売したチャリティグッズの売上金の一部を、震災や豪雨などの被災地への義援金として、日本赤十字社を通じて寄付。	—
クリエイション事業	+ 会社訪問の積極的受け入れと内容の充実。 + 宇宙開発フォーラムへの寄付およびワークショップ開催。	—
アミューズメント事業	+ スポーツ庁主催の「Sport in Life」コンソーシアムへの加盟。	—
関連事業会社 (バンダイロジバル・ロジバルエクスプレス)	+ 地区交通安全協会と連動し、交通安全運動を通じて地域に貢献。	—